

# 連珠っておもしろい

## 九段 河村典彦

● 第114回 ●

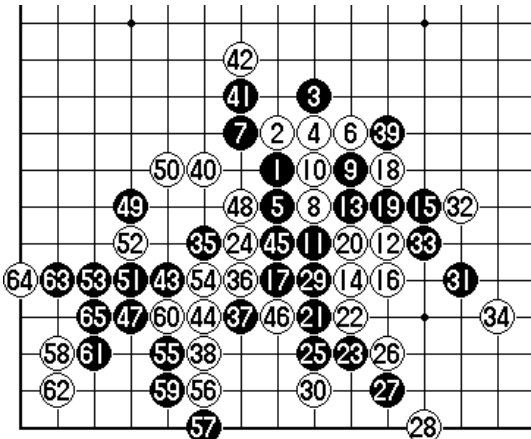
### ■ 嗚呼、飯尾さん逝く

「飯尾さんが亡くなつた」という衝撃的なメッセージを受信した時、え！というところで思考が固まってしまった。そう言えば体調が悪く入院するって言ってたっけ？バリバリ現役だっど70歳近かつたっけ？などなど頭をよぎったが、本当にびっくりした。蔵田さん、小林さん、宮川さん、いつも急逝してしまつていた。飯尾さんまで驚かせるとは。本当にあとあとの人が困るんですよ！

まだショックから立ち直れていないが、今回は飯尾さんとの対局を振り返ってみたい。私が学生時代京都連珠会に行きだした頃は飯尾さんは休珠中で、ほぼ対局したことはなかった。対

局が多くなくなったのは、私がドイツから帰国し、滋賀県で単身赴任してからだ。飯尾さんは神戸というところもあり、京都連珠会に毎月来られていたわけではなかった。対局は主に名人戦関連とクラス別だ。まずは私が久しぶりに参加した2014年11月開催のクラス別から。

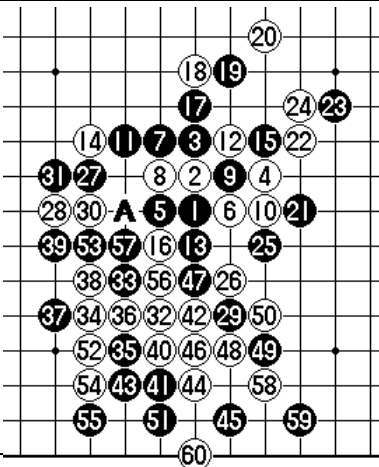
黒 河村 白 飯尾



飯尾さんの特徴としてはまず防ぎが強いということ

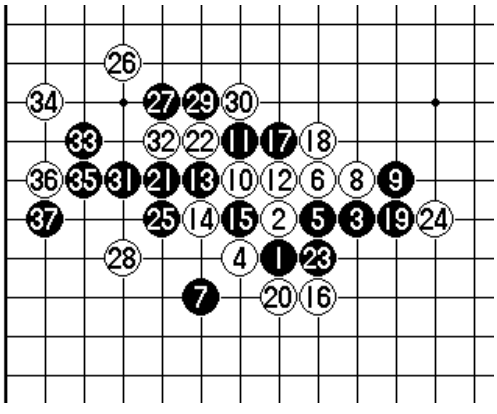
である。これは長年の経験が大きいのだろう。一度捕まったらまず抜けられない。その上、攻めも強烈なのだが、本局は攻めさせてからの反撃がうまく決まった。続いては、翌年2015年のA級リーグから。この年は予選含め飯尾さんには負けなかったのだが、急所の一局で痛い敗戦となった。

黒 河村 白 飯尾



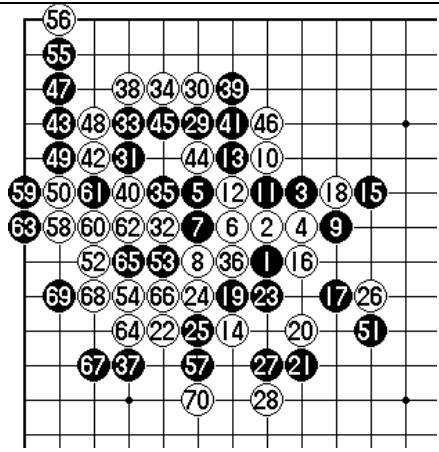
寒星で白4は当時流行していたと思うが、黒7が成立しては普通良しとしたものだ。ところが、黒11と暴走してしまった。その後ひたすら謝って防いでいたの

だが、飯尾さんは許してくれず、手痛い敗戦となった。次は、2016年の京都市リーグから。(黒 飯尾)



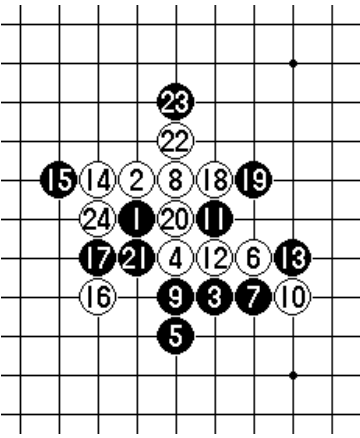
飯尾さんのもう一つの特徴としては、流行に敏感ということである。外国に数回遠征していたことも関係しているのだと思う。当時流行していた残月黒5の手もよく研究されていた。黒15からは経験の差が出たようで、左辺でうまく勝ちを出されてしまった。同じ年の名人戦一次予選

でも負けてしまった。  
黒 河村 白 飯尾



溪月黒5も当時流行しており、黒は攻めたが受けきれられ、最後は寄り切られてしまった。

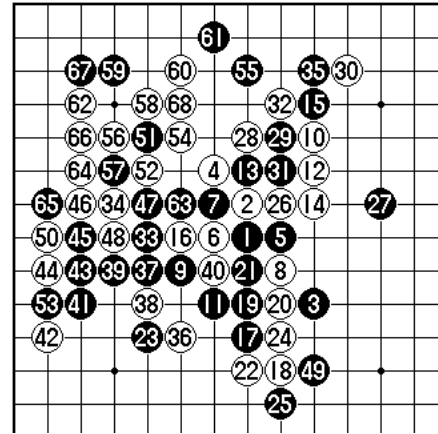
黒 河村 白 飯尾



次は2017年の名人戦2

次予選から。この年も2次予選で敗退し、A級には進めなかった。2年とも飯尾さんの厚い壁に阻まれたのだが、この辺りは長谷川九段、飯尾八段、私で高段者壁を作っていた（打ち破ったのが牧野さんになる）。遊星は私よりも先に飯尾さんが注目しており、私に遊星を指定してくるのはおそらく飯尾さんぐらいだろう。この局はうっかり黒5を候補に入れてしまった時点で終わってしまった。

黒 飯尾 白 河村

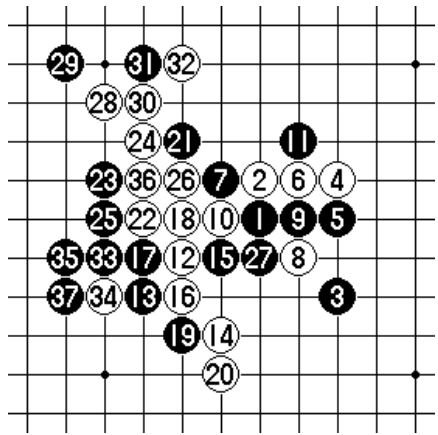


2018年は立場が逆転して、

私が飯尾さんを落とすこと、遊星黒5は私も研究しており、研究を披露しあう場となった。私は白10で黒勝ちがないと自信を持っていたが、黒23に対する受けを間違えた。黒37が筋悪く、ミセ手から打っておけば勝っていた。最後は上辺で勝つことができた。

次は2016年のクラス別。この年は私がA級出場となったのだが、予選では飯尾さんが1次予選落ちとなつて対戦できなかった。

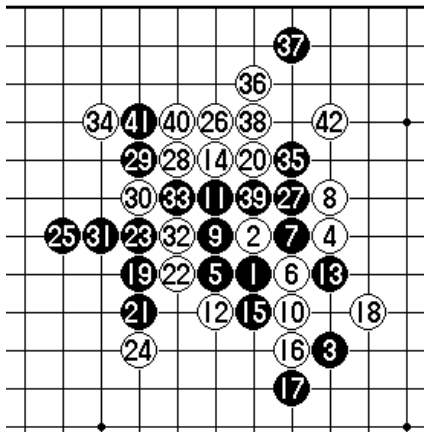
黒 河村 白 飯尾



また遊星になったが、こ

の頃から飯尾さんの防ぎに精彩がないなど感じるようになった。白4に黒5はまなく、白12まで名月の難型に戻っている。黒は13からひたすら受けに回ったのだが、途中で逆転し、いつの間にか勝っていた。

最後の対局となったのは昨年のクラス別だが、その前の京都阪神対抗戦より。黒 飯尾 白 河村



またも遊星で、この5は飯尾さんの研究手であった。記録上では2014年以降40局対戦し、私から見て28勝11敗1分であった。